

Time: 9:00時点

※前回報: 2月7日報 Vol: 32

統括部 企画統括課

今週のTOPIC

米国連邦準備委員会が利上げ継続示唆する一方で米国原油在庫は大幅増

■ [2月CP] プロパン: \$790 (前月比+\$200)、ブタン: \$790 (前月比+\$185) ■ [1月MB平均]: \$438 (前月比+\$81)

エネルギー市場

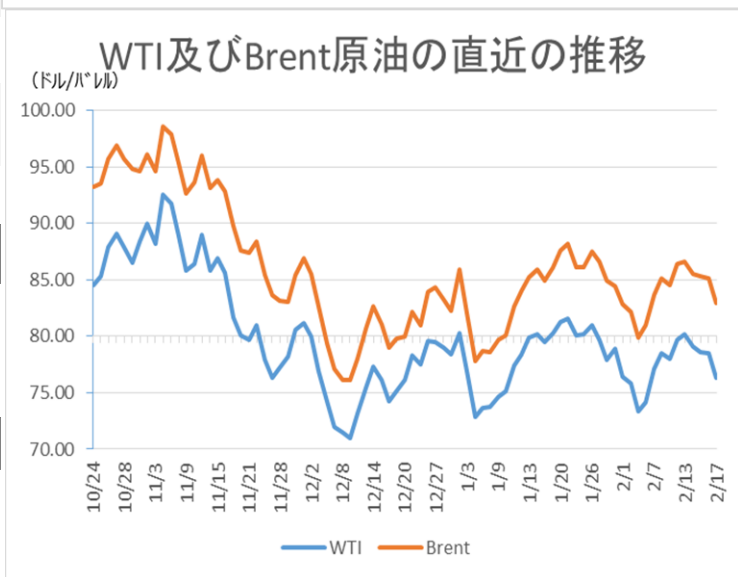
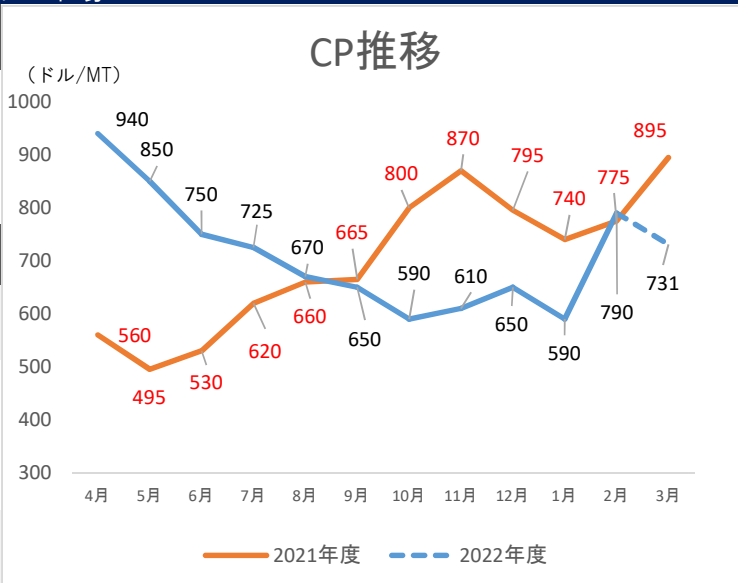
原油 先物 (USD/BBL)	今回	前回	前回比
NY/WTI (3月)	76.34	73.39	+2.95
北海Brent (4月)	83.00		

LPガス 先物 (USD/MT)	AL熱量換算比			
プロパン予想値	今回	前回比	今回	前回比
CP 3月	731	+35	103%	▲1%
MB 2月	434	▲26		

プロパン	4月	5月	6月	7月	8月
CP先物	648	599	575	565	564
プロパン	3月	4月	5月	6月	7月
MB見通し	436	435	435	436	438

外航フレート (USD/MT)	2/16時点	※前回	前回比		
中東-日本	93.0	91.5	+1.5		
米国-日本 (パナマ運河経由)	136.0	144.0	▲8.0		
為替/TTS	2月予測	1月	12月	11月	
USD/円	20日迄	132.27	132.51	138.46	146.47
	末日迄	133.54	131.35	136.09	143.48

LPG元売り2月改定幅予測値 (円/t)	プロパン	ブタン
ジャパンガスエナジー	改定レンジ: +5,500~+6,100	+7,600~+8,200
ENEOSグローブ	改定レンジ: +6,300~+6,900	+7,800~+8,400
アストモスエネルギー	改定レンジ: +8,300~+8,900	+10,000~+10,600
ジクシス	改定レンジ: +8,000~+8,600	+9,800~+10,400



マーケット概況							
	今回	※前回	前回比		今回	※前回	前回比
NYダウ (US\$)	33,826.69	34,302.61	▲475.92	TOPIX (円)	1,991.93	1,886.31	+105.62
S&P500 (US\$)	4,079.09	3,999.09	+80.00	金 (Gold) 先物 (US\$)	1,849.20	1,918.65	▲69.45
米国債券10年利回り (%)	3.817	3.498	+0.319	VIX恐怖指数 (%)	20.02	23.82	▲3.80
日経平均 (円)	27,513.13	25,822.32	+1,690.81				

今週のTOPIC

米国連邦準備委員会が利上げ継続示唆する一方で米国原油在庫は大幅増

原油概況

★米国景気後退懸念と中国需要回復期待交錯しWTIは\$75~80間を推移

影響度

強気・
上昇要因



- ① OPECは2023年世界原油需要を日量232万バレル（2.3%）増加と予測
- ② ロシアは3月原油生産を日量50万バレル（約5%）削減すると発表
- ③ OPECプラス、現行の日量200万バレル減産政策を2023年末まで維持

弱気・
下降要因



- ① 米国新規失業保険週間申請件数が予測を上回る増加、景気に後退懸念
- ② EIAは米国原油在庫が前週比1,630万バレル増加（3.6%）と発表（EIA=米国エネルギー情報局）
- ③ ロシア原油中国向け海上輸出は1月日量23万バレルと昨年6月以降最高

LPガス概況

★サウジアラビア基地定期修理影響緩和で3月CPは前月比▲\$59の予測

（強気）

アブダビ国営石油3月供給量は定期修理影響で前月より減少する見込み

（弱気）

- ① 米国プロパン在庫は596万tと需要減少で前年同期比44%増加（182万t）
- ② CP高騰により中国化学工業原料用プロパン需要が減少

「米国景気動向」

- ・米国はインフレの抑制を目的として2022年3月から実質0金利政策を転換し金利の引き上げを続けています。
- ・しかしながら1月の消費者物価指数や製造業生産指数も高い伸びを示しており、米国金融当局は利上げ継続の姿勢も示唆しています。
- ・一方で雇用者数や賃金の伸びが落ち込むと消費者の購買力が大きく低下する可能性もあり、リセッション（景気後退）の懸念が指摘されています。